

(1) 目指す児童・生徒像

(2) 目指す児童・生徒像を達成するための取組

「自らきたえる  
児童・生徒」



- ①運動を楽しみ進んで体力づくりをする力の育成<保健体育>
  - ・体力テストでの現状をつかみ、サーキットトレーニング等の運動量の確保
  - ・記録の伸びを実感できる掲示物等の活用
  - ・体力の弱い部分の改善に向けた運動等の情報交換

数値目標:体力テストA+Bの割合60%以上  
体力テストD+Eの割合20%以下
- ②健康に関心を持ち、正しい生活習慣を身に付ける健康教育・食育<保健・食育>
  - ・生活習慣アンケートに共通項目(朝食を食べているか等)を設定し、美野里地区児童生徒の実態を把握

数値目標:朝食摂取率平日90%以上

  - ・中学校区で統一した食に関する授業を通した自分の食生活について考えるきっかけづくり
- ③命の大切さを理解し、命を守るための判断力・行動力を育む安全教育<安全教育>
  - ・中学校委員会による、自転車の乗り方、歩行の仕方、不審者対応等の啓発資料の作成と小学校への提供
  - ・道徳の授業、講話等で命について考える機会の充実
  - ・社会科、総合的な学習の時間と連携した予想できない災害について知り、考える時間の設定
  - ・安全教育の計画の情報共有と9年間を見通して各校の状況に合わせた講師講話の共通化

「伸びやかな心をもつ  
児童・生徒」



- ①小中学校間の生徒指導に関する情報共有<生徒指導>
  - ・学校見学会を通した学校文化の確認
- ②小中間の特別活動における交流<特別活動>
  - ・小学校時に行う部活動見学
  - ・学校訪問やオンラインを活用した小中交流

数値目標:オンラインでの学級活動 年2回
- ③児童生徒、学校及び地域の実態を踏まえた人権教育の推進<人権教育>
  - ・人権啓発活動への積極的な参加
  - ・自ら進んで人と関わる機会の充実

「理想の学びを求める  
児童・生徒」



- ①学びの芽生えを育み、主体的な学びにつなげる教育
  - ・自ら課題を設定し、他者と協働するなどして粘り強く課題の解決に取り組む学習の充実
  - ・対話を重視した授業の取組
  - ・ICTの効果的な活用
- ②課題解決的な学習の促進
  - ・家庭や地域社会と連携した体験活動の充実
  - ・総合的な学習の時間や生活科の充実

数値目標:授業が楽しい 80%以上

  - ・日常生活等から課題を見だし解決する授業の取組

地域と一体となって子どもたちを育む『地域とともにある学校』

- ・登下校の見守り
- ・環境整備ボランティア
- ・学習・学校行事等への支援(人材バンク)
- ・関係機関との連携

数値目標:学校支援ボランティア動員延べ200人

- ・市内一斉クリーン作戦への参加